

平成 26 年度全国学力・学習状況調査における山口市の結果概要について

1 調査の概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査期日 平成 26 年 4 月 22 日 (火)

(3) 調査対象 すべての小学校第 6 学年児童
すべての中学校第 3 学年生徒

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査 (国語、算数・数学)

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

- ・国語 A、算数・数学 A : 主として「知識」に関する問題を中心とした出題
- ・国語 B、算数・数学 B : 主として「活用」に関する問題を中心とした出題

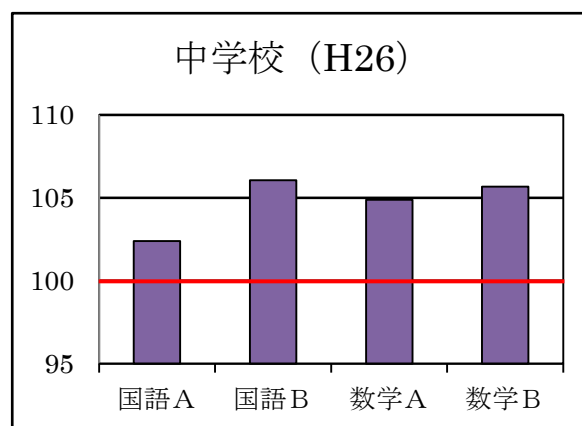
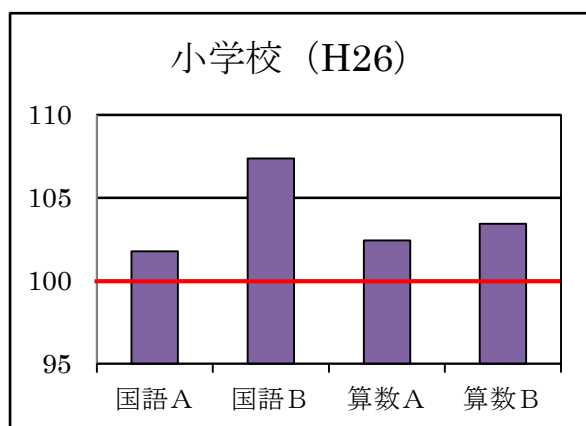
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ア 児童生徒に対する調査
- イ 学校に対する調査

2 教科に関する結果

本市と全国の各教科平均正答率との比較

- ・ 全国の平均正答率を100として、各教科における本市の結果をグラフで表しています。



- 各学校や児童生徒の努力の成果として、小学校・中学校ともに、全ての教科において全国平均正答率を上回る結果となっています。
- 小学校では特に国語B（主として「活用」に関する問題）、中学校では特に国語B、数学B（主として「活用」に関する問題）において、全国平均正答率を5ポイント以上上回る結果となっています。

出題された問題の内容～成果と課題～

- ・ 各教科の調査問題※ において、「正答率が高かった問題（○）」「課題の見られる問題（▲）」についてまとめています。
Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用」に関する問題です。

※調査問題の詳細は、国立教育政策研究所の「平成26年度全国学力・学習状況調査の調査問題について」(<http://www.nier.go.jp/14chousa/14mondai.htm>) で閲覧することができます。

(1) 小学校の成果と課題

【小学校国語A】

○漢字を正しく読むこと

(道路の標識を見る)

【正答率 93.1%】

○漢字を正しく書くこと

(料理をのせたさらを運ぶ)

【正答率 97.6%】

▲故事成語の意味と使い方を理解する

(下図参照)

正答は、

「2」です。

【正答率 44.8%】

半数以上の人

が、「1」または「3」

と解答していま

した。

正答は、

「3」です。【正答率 44.1%】

「2」と解答した誤答が多くありました。

2

次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 「五十歩百歩」

1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。

2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。

3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのか、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

二 「百聞は一見にしかず」

1 友達の野村さんは、先生の説明のはじめの部分を聞くと、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということが出来る人だ。

2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。

3 私は、人からいろいろと細かく注意されるのがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

【国語A】の問題では、このほかに「文のつながりを捉えて、適した接続詞を用いる力」を見る問題において、高い正答率が見られました。

【小学校国語B】

○二つの詩を比べて読み、表現の特徴（擬人法）をとらえること【正答率 82.5%】


▲立場を明確にして具体的に書くこと（下図参照）

【正答率 33.3%】


1

手書きの立場の主張


司会



平川




関口




④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「ア」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「ア」から、質問や意見をお願いします。

パソコンを使う立場の主張


司会



大野



丸山



①はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどうだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができるので、作業に取り組みやすいと思います。

②私もパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

③私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。

【討論会の様子】：①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

1 第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※参考

アの中には、丸山さん①と平川さん③の発言に共通する観点が入ります。

解答は「作業への取り組みやすさ」です。【正答率 68.8%】

いろいろな条件に合わせてまとめる力が求められます。ここでは大野さんの発言に対して、「質問」または「意見」のどちらかの立場を選び、大野さんの発言の中の言葉を引用しながら、限られた字数でまとめて書く必要があります。

【正答率 33.3%】

三 あなたは、「討論会の様子」の中の「イ」のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の□の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

○ 大野さん②の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。

○ 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

大野さんの発言に対して□があります。

手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「記念に残る卒業文集のあり方」について

司会 あなた

「ア」について

丸山 谷 丸山 林

大野さんの発言に対して□があります。

（討論会が続く）

ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。

はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていると思います。

丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。

確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると思います。

イ

【国語B】では、理由や根拠を示すことが求められる記述式問題等には、引き続き課題が見られます。

【小学校算数A】

○計算式を解くこと (下図参照)

1

次の計算をしましょう。

(1) $46 + 57$ 103 【正答率 97.4%】

(2) 903×6 5418 【正答率 93.2%】

(3) $9 - 0.8$ 8.2 【正答率 84.9%】

(4) $2 \div 5$ (わりきれぬまで計算して、商を小数で書きましょう。) 0.4 【正答率 92.7%】

(5) $100 - 20 \times 4$ 20 【正答率 87.8%】

(6) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$ $\frac{11}{15}$ 【正答率 93.9%】

▲割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になること(下図参照) 【正答率 55.5%】

2

下の図のように、白いテープの長さをもとにして、赤いテープと青いテープの長さを表しました。

(2) 青いテープの長さを求める式を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 $80 + 0.6$
2 $80 - 0.6$
3 80×0.4
4 $80 \div 0.4$

赤いテープの長さを求める式は、「 80×1.2 」【正答率 72.8%】であると分かっているにもかかわらず、ここでは「4 (割る)」と解答した誤答が多く見られました。

【小学校算数B】

○示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)

の筆算をすること (下図参照)

【正答率 95.4%】

1

さとしさんたちは、次の問題について考えています。

問題 \square の中にいろいろな数を入れて、「 $37 \times \square$ 」の計算をしましょう。

さとしさんは、まず、 \square の中に「1」、「2」、「3」を入れて筆算で計算しました。

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 1 \\ \hline 37 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 2 \\ \hline 74 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 3 \\ \hline 111 \end{array}$$

37×3の積は111となって、同じ数字が3つ並びます。

次に、 \square の中に「4」、「5」、「6」を入れて計算しました。

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 4 \\ \hline 148 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 5 \\ \hline 185 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 6 \\ \hline 222 \end{array}$$

37×6の積は222となって、同じ数字が3つ並びます。

(1) さらに、 \square の中に「7」、「8」、「9」を入れて計算し、積に同じ数字が並びかどうかを調べます。

積に同じ数字が並び計算を、下の **1** から **3** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1
$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$$
 2
$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$
 3
$$\begin{array}{r} 37 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

「 $37 \times 3 = 111$ 」、「 $37 \times 6 = 222$ 」となることから、「 $37 \times 9 = 333$ 」になるという見通しをもつ力が求められています。

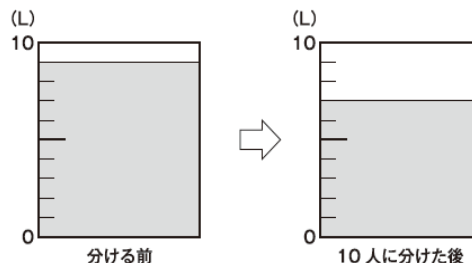
見通しをもてずに、1~3をすべて計算して正解した児童もいると予想できることから、この問題を教材として取り扱うことで、見通しがもてたかどうかを確かめる必要があります。

▲示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述すること（右図参照）【正答率 32.5%】

「3」は解答できているものの、「選んだわけ」が不十分で、誤答となるケースが多く見られました。

- ① 10人分のスープが2Lであること
 - ② 30人に必要なのは6Lであること
 - ③ 10人に分けた後、現在7L残っていること
 - ④ 40人に分けると1L残ること
- のうち、②を必ず含めた2つ以上の数値や説明が必要です。

(3) ともみさんは、右のような入れ物に入っているスープを分ける係になりました。
ともみさんは、玉じゃくし1ばいを1人分として、40人に分け始めました。すると、分ける前と10人に分けた後では、下の図のようになりました。



この分け方で、残りの30人にスープを分けることができますか。次の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉と数を使って書きましょう。

- 1 足りなくなって、分けることができない。
- 2 残さず分けることができる。
- ③ 分けることはできるが、残る。

【算数B】では、グラフや図を観察して、数量の関係を理解し、説明する問題が2問出題されました。目盛りの入ったグラフを観察して、与えられた数値がこのグラフの縦軸を超えてしまうことを説明する問題は正答率が74.5%と高く、授業における言語活動の充実による成果が見られました。

しかし、「割合」に関する内容が加わった場合の説明には、依然として課題が見られます。

《成果を上げた取組の一例》

- 平川小学校では、高学年への教科担任制の導入や、教職員のグループや内容を工夫した校内研修の計画的な実施により、児童の国語・算数への関心がとても高くなっています。
- 仁保小学校では、授業で児童にしっかりと発言させて、その発言を評価する取組を続けており、国語への関心や言語活動・読解力に関する児童の意識が高くなっています。
- 小郡南小学校は、生活規律の徹底に重点的に取り組み、生活習慣やきまりに対する児童の意識がとても高く、落ち着いた雰囲気の中で学習内容の定着が図られています。
- 興進小学校では、様々な時間を有効に使うって県教委作成の「やまぐち学習支援プログラム」を用いた学習を徹底しており、国語、算数ともに大きな成果を上げています。
- 名田島小学校では、児童が互いに考えを伝え合い高め合う「フリートーク」の手法による、「聞く力」「話す力」「書く力」を意識した授業に取り組み、成果を上げています。なお、「フリートーク」については、多くの学校が取り組んでいます。

【中学校国語A】

○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと 【正答率 96.7%】

▲文脈に即して漢字を正しく書くこと

(地域の人をショウタイする) 【正答率 54.1%】

(円のハンケイを求める) 【正答率 56.3%】

▲目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること 【正答率 53.9%】 (下図参照)

正解例は「**未来の姿**」などが挙げられます。
高橋さんの推薦理由から「未来にはばたいていく私たちの姿を表す」という内容を適切に取り上げることがポイントです。

6 岩田さんの学級では、卒業文集の題名を決めています。次は、話し合いの内容を整理した【黒板】と【話し合いの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【黒板】

	候補	メモリー ～いつも隣に友がいた～	はばたき ～きずなを胸に～
整理			
共通点	学級の団結力		
相違点	過去の思い出		

【話し合いの一部】

前回、題名の候補を「メモリー～いつも隣に友がいた～」と「はばたき～きずなを胸に～」に絞りました。今日は、題名を決定します。まず、それぞれの題名の推薦者から再度意見を聞きます。そして、話し合ってみます。それでは、南さんからお願ひします。

「メモリー～いつも隣に友がいた～」がよいと考えます。修学旅行や合唱などの思い出を記録するのが文集だからです。読み返すたびに楽しかった過去を思い出すことでしょうか。また、副題から、学級でいつも団結できたことも表せます。

「はばたき～きずなを胸に～」を推薦する理由は二つあります。一つめは、未来にはばたいていく私たちの姿を表す題名だからです。二つめは、何事も団結して取り組んだ学級のことが「きずな」という言葉に込められているからです。

【黒板】にある相違点の欄の□に当てはまる言葉を、高橋さんの発言の中にある言葉を使って、六字以内で書きなさい。

【国語A】では、難易度の違いはありますが、漢字を書く問題の正答率が、昨年度に比べて大きく下がっています。

【中学校国語B】

○表現の技法について理解していること

【正答率 70.9%】

「読書週間」の標語

・風もページをめくる秋 → 「擬人法」を使って、情景を豊かに想像できる

▲文章の構成や表現の特徴を捉えること複数の資料を比較して読み、要旨をとらえること（下図参照）

【正答率 31.7%】

【本の一部】

いろいろな物をくっつけることができる接着剤。物を組み立てるときや壊れた物を直すときなどに、とても便利なものです。なぜ接着剤は物と物とをくっつけることができるのでしょうか。物をくっつける仕組みはいろいろありますが、ここでは代表的な仕組みで考えてみましょう。

接着する物の表面を

顕微鏡で見ると、

つるつるしているよう

に見える金属でも、そ

の表面には肉眼では見

えない凹凸があること

が分かります。そこに

接着剤を塗ると、凹凸

のすき間に接着剤が入り込みます。そして、すき間に入った接着剤が固まることで物がくっつきます。これをアンカー効果とい

います。アンカーとは船の錨いかりのことです。接着剤が物をくっつける仕組みを、海の底に錨を下ろし船を留めておく様子に

例えて、そう呼んでいます。つまり、液体の状態での物の表面に広く行き渡った接着剤が、すき間に入って固体となることで、

物と物とをくっつけているのです。

次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみましょう。

（中略）

最後に、接着剤がどのような場面で使用されているか考えてみましょう。

接着剤の用途を調べると、思いもよらないものに接着剤が使用されていることに気がきます。例えば、飛行機やスペースシャトルの機体の組み立てには接着剤を使用しています。電子部品を作る際にも、金属の粉などを混ぜた接着剤を使用することがあります。また、つり橋の中には、橋を支えているロープを、コンクリートでできた土台の中に接着剤で固定している橋もあります。このように、現代において接着剤は、様々な場面で使用されています。



【インターネット情報の一部】 ※経済産業省のウェブページを引用しているため、概要のみ掲載
■ 飛行機の機体を組み立てるときに接着剤を使うこと。接着剤を利用することによるメリット。
■ スペースシャトルの表面にたくさんのタイルが接着剤でつけられていること。スペースシャトルの材料にはタイルが使われている理由と、その理由に伴う接着剤の特徴。
■ 歯科をはじめ、さまざまな医療用の接着剤が開発されていること。
■ 食品容器にも、その目的にあつた接着剤や接着方法が用いられていること。

一 【本の一部】と【インターネットの情報の一部】の内容を比較したときの説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 接着剤が物をくっつける代表的な仕組みについて、【本の一部】では物をくっつける過程を述べ、【インターネットの情報の一部】では図を用いて具体的に説明している。
- ② 接着剤の用途について、【本の一部】では意外なものに使われていることを述べ、【インターネットの情報の一部】では使用場面ごとに項目を立てて具体的に述べている。
- 3 接着剤が液体から固体になる変化の仕方について、【本の一部】では接着剤の種類ごとに述べ、【インターネットの情報の一部】では代表的な例を取り上げて説明している。
- 4 簡単にはがせる接着剤について、【本の一部】では簡単にはがれる仕組みを図を用いて説明し、【インターネットの情報の一部】ではその接着剤を利用した商品を紹介している。

誤答としては、全体の約3分の1以上の生徒が「3」を選びました。
選択肢それぞれの文頭にある「○○○について」の部分に関する説明であることを確認した上で、内容を比較する必要があります。

【正答率 31.7%】

【国語B】では、このほかに「根拠として取り上げる内容を正しく理解した上で活用する」、「必要な情報取り出し、それらを用いて伝えたい内容を適切に説明する」点に課題がありました。

【中学数学A】

○数量を文字式で表すこと（下図参照）

【正答率 93.8%】

2 (4) あるパレードには男子 m 人と女子 n 人がいて、それぞれ2個の風船を持っていました。そのパレードで男子と女子が持っていた風船の合計数を表している式が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

- ア $2(m+n)$
- イ $2+(m+n)$
- ウ $2m+n$
- エ $m+2n$

▲関数の意味を理解

していること（右図参照）

【正答率 38.7%】

正解は、①「料金」、②「重量」です。
全体のおよそ3分の1の生徒が、①と②を逆に解答して誤答となりました。

9 下の表は、ある運送会社の書類の宅配サービスの料金表です。

重量	100g まで	250g まで	500g まで	1kg まで
料金	150 円	190 円	270 円	320 円

このサービスで扱える書類の重量は1kg までです。

このとき、1kg までの書類の重量と料金について、「重量を決めると、それにもなって料金がただ1つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、 と に当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

【中学数学B】

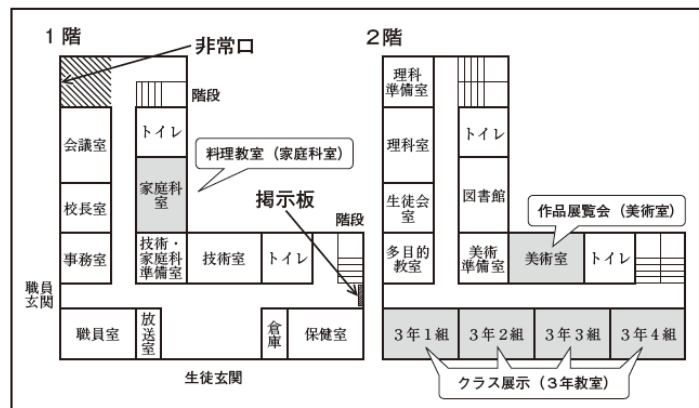
○日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ること（右図参照）

【正答率 94.8%】

1 第一中学校では文化祭の準備をしています。実行委員の健太さんは、来客用のはり紙やパンフレットを作ったり、校舎に横断幕を取り付けたりします。

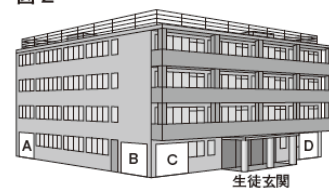
図1は校舎の1階と2階の案内図です。

図1



(2) 文化祭のパンフレットに、外から校舎を見た図2を使います。図1で示した非常口の位置が、図2のA、B、C、Dの中にあります。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

図2

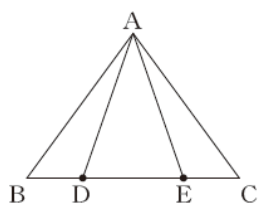


- ア Aの位置
- イ Bの位置
- ウ Cの位置
- エ Dの位置

▲付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いること（下図参照）

4 下の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC の辺 BC 上に
 $BD = CE$ となる点 D 、点 E をそれぞれとります。

【正答率 23.1%】



(2) $\angle BAC = 110^\circ$, $BD = AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求めなさい。

正解は「40 (度)」です。

(1)で、「 $AD = AE$ 」を証明した上で、(2)では条件が加わりました。

加わった条件を満たす、およその図を描いてみることで、同じ大きさの角が複数あることが見つかります。全体のおよそ4分の1の生徒が「無解答」であったことから、考えるきっかけとして、条件を満たす図を新たに描きながら整理することが大切です。

中学校の数学では、基礎的・基本的な計算問題の正答率は全体的に高いものの、山口県の中では、無解答率が比較的高い結果となりました。

「関数の意味を理解すること」や、「問題解決の方法や判断理由の説明すること」には、依然として課題が見られます。

《成果を上げた取組の一例》

- 阿東東中学校は、**AFPY(※)を基本とした学習**を特に充実させており、生徒が安心・安全な雰囲気の中で主体的に学ぶ姿勢を育むことで成果を上げています。
- 阿知須中学校は**読書活動**に重点的に取り組んでおり、国語の活用力を問う問題に対して、特に成果を上げています。
- 仁保中学校では、生徒の「なぜ? (疑問)」を基に、**根拠を明らかにして説明する活動**にすべての教科で取り組んでいます。**言語活動の充実**が、好成績につながっています。
- 徳地中学校は、4月に**1年間の学習内容や教科ごとの学習のポイントなどを示したもの〈シラバス〉**を家庭に配布するなど、生徒に見通しをもたせる取組で成果を上げています。
- 鴻南中学校は、3年前から**各学期に1回以上、全教員が授業を参観し合う日を設定**して、**授業改善**に取り組んでおり、生徒の活用力が高まっています。

※AFPY : Adventure Friendship Program in Yamaguchi の略で、山口県独自の体験学習法で、〈安心・安全〉、〈課題設定〉、〈ルール〉、〈コミュニケーション〉、〈達成感〉、の5つの視点を持つ。

3 生活習慣や学習環境等の結果

・質問に対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」という肯定的な回答を全国と比較し、本市の小・中学生の「望ましい状況（○）」と「課題の見られる状況（▲）」をまとめています。

- 「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝起きしている」等、規則正しい生活に関して、引き続き望ましい状況が見られます。
- 「将来の夢や目標をもっている」児童・生徒の割合が、全国と比較して高くなっています。今の子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。
- 「普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上テレビやビデオ・DVDを視聴したり、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしたりする児童・生徒の割合は、全国と比較して低くなっています。
- 携帯電話やスマートフォンの所有率は、昨年比べて増加しているものの、全国と比較すると依然として低く、通話やメール、インターネットを長時間する児童・生徒の割合も低くなっています。
- 「本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館に週1回以上行く」児童・生徒の割合は、全国と比較して高くなっています。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」児童・生徒の割合が、全国と比較して高くなっています。
- ▲「新聞を読んでいる」児童・生徒の割合は、全国と比較して高くなっていますが、「ほぼ毎日読んでいる」割合は1割程度で、小・中学生ともにニュースや新聞への関心を高めていくことが求められます。
- ▲「家で学校の授業の復習をしている」児童・生徒の割合は全国を上回っているものの、「普段（月～金曜日）に家や学習塾で2時間以上勉強している」割合や「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、家や学習塾で2時間以上勉強している」割合が、ともに全国と比較して低くなっています。帰宅後や休日に勉強する時間をきちんと決めるなどの工夫が必要です。

山口市教育委員会は、今年度の成果と課題を踏まえ、日常的な学校訪問によって各学校の実態に応じたきめ細かな指導助言と支援を継続することで、児童・生徒の学力の向上と望ましい学習習慣の定着を図ってまいります。